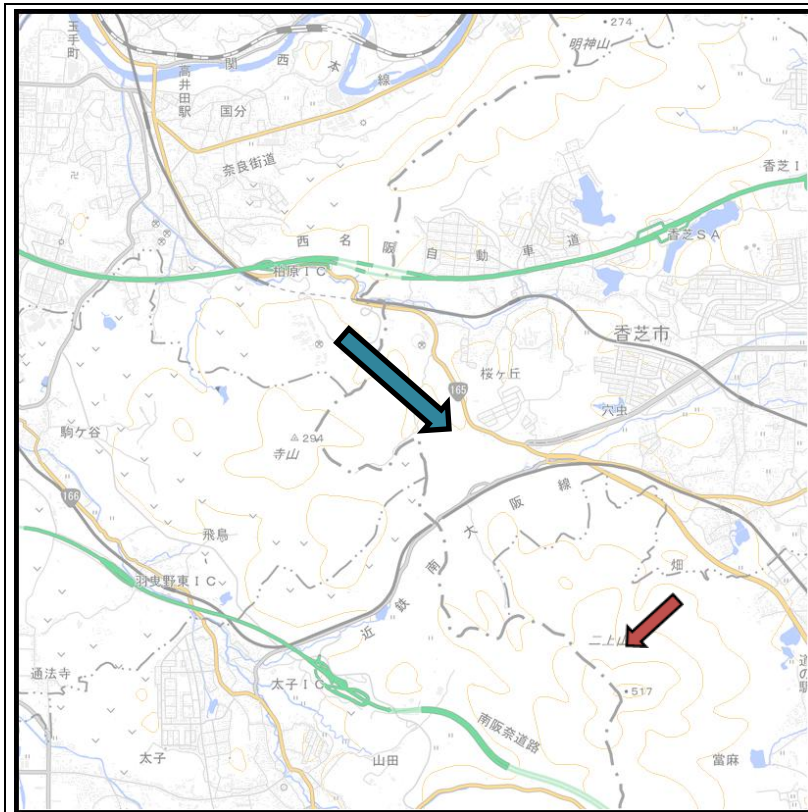


二上山の3つの石

南 寿宏



二上山地形図(国土地理院 HP)

今回の舞台は、飛鳥の西に延びる山。頂上に雄岳と雌岳の二岳が見え、二上山と言われており、雄岳には悲劇の皇子、大津皇子が眠る(左図赤矢印)。

二上層群は、領家帯の花崗岩を基盤に、下位よりドンズルボー累層、原川累層、玉手山累層に区分され、円明礫層および古大阪層群に覆われる。ドンズルボーとは聞きなれない名称だが、二上山の北西にある屯鶴峯(ドンズルボー)である。鶴が集まる峯の意で、屯は消防屯所の屯。

屯鶴峯(左図青矢印)は火砕流堆積物(熔結凝灰岩)からできており、灰白色の露頭が観察できる。

ドンズルボー累層の熔結凝灰岩は二上山にも分布し、高松塚古墳や藤ノ木古墳などの石棺や石室として使われている。なお、地名はドンズルボウ、地層名はドンズルボーであることに注意。

二上山で産出する特徴的な岩石は、サヌカイト、凝灰岩および金剛砂の3種類である。二上山博物館展示解説(1992)より抜粋する。

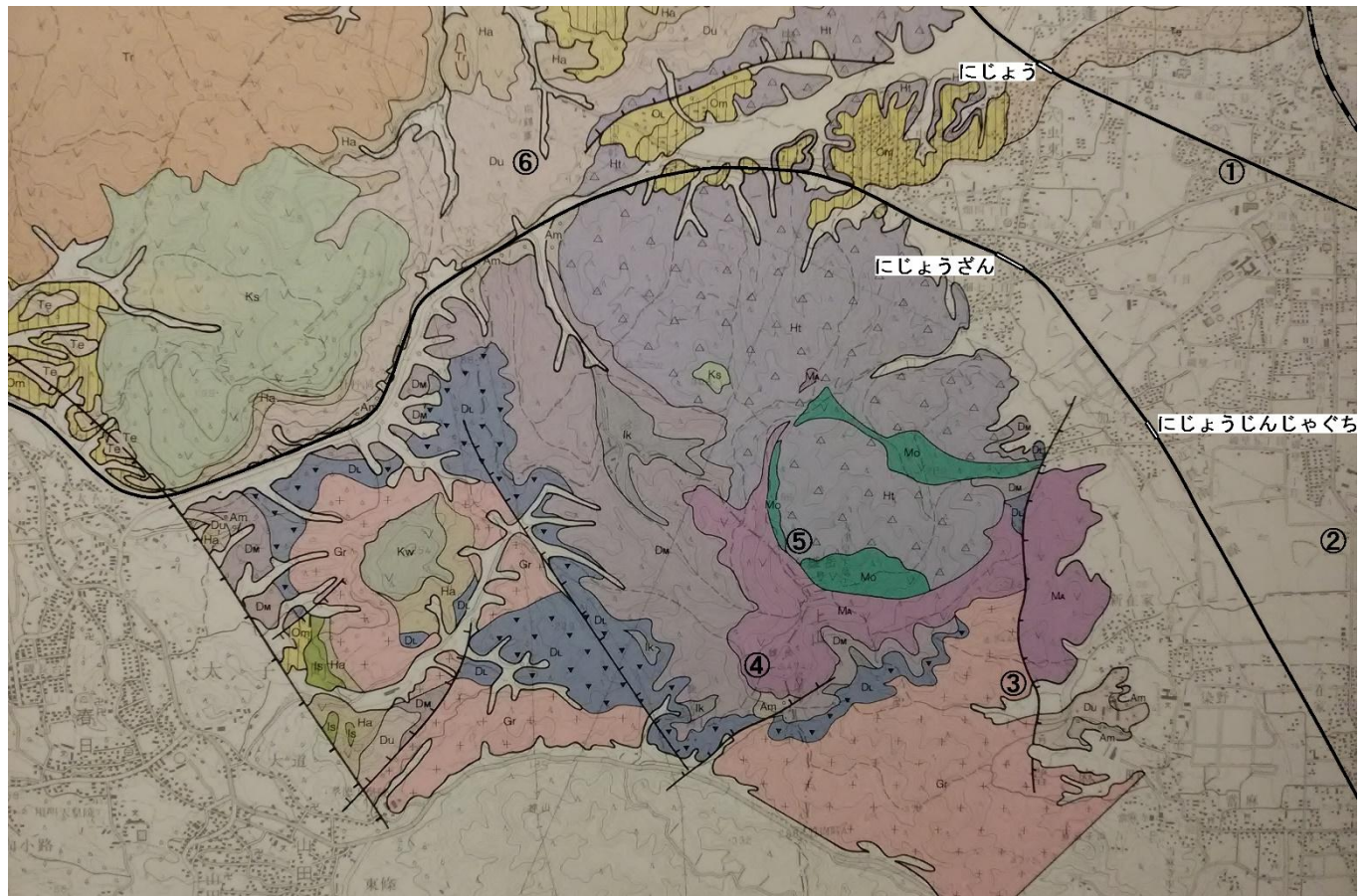
サヌカイト (古銅輝石安山岩)	1891年にドイツ人のワインシェンクが命名。その後、1916年に小藤文次郎はサヌカイトと似かよった岩石をサヌキトイドとよんだ。サヌカイトはガラス質の岩石で、打ち欠くと貝殻状に割れてすどい刃ができるので、打製石器の原料として用いられた。
凝灰岩 (火砕流堆積物)	二上山付近でみられる凝灰岩のほとんどは、*熔結凝灰岩である。ただ、原川累層や玉手山累層には含まれているものは、狭義の凝灰岩に近い。二上山の凝灰岩(二上山白石)は5世紀ごろから死者を葬る棺に利用され始めた。6世紀になると家形石棺が盛んにつくられ、藤ノ木古墳など多くの古墳におさまっている。また7世紀の終末期古墳には、壁画で有名な高松塚古墳や平野塚穴山古墳の石槨にも使用されている。
金剛砂 (ガーネット)	二上山の火山活動に伴う熔岩の噴出で、石切場火山岩(シソ輝石ザクロ石黒雲母デイサイト)の中にザクロ石が捕獲岩として含まれた。この石切場火山岩が長い年月を経て風化流出し、低地に堆積したザクロ石を金剛砂とよんでいる。二上山の金剛砂は、鉄分の多い鉄礬(てつばん)ザクロ石の一種で、硬度が6.5~7.5と非常に硬いことから研磨剤として利用されてきた。
*熔結は常用漢字外で、通常は溶結と表記されるが、本稿では原表記にしたがった。	

サヌカイトはその名のとおり、讃岐つまり香川県の屋島や五色台などで産出する岩石であり、ガラス質で音がよく響くことから、鉄琴楽器として使われている。

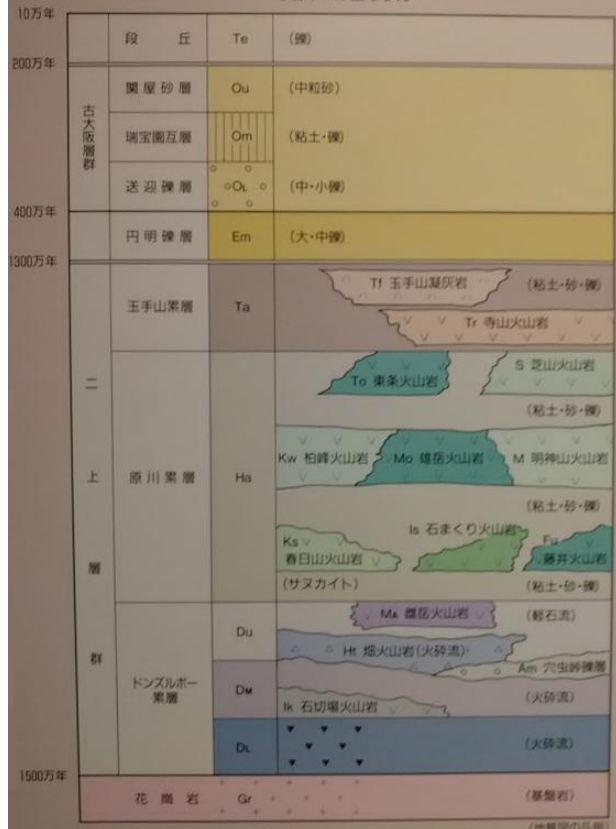
凝灰岩は、前述したように熔結凝灰岩で、15Ma 前後に噴出した火砕流堆積物である。

金剛砂は、何と、ガーネット。ガーネットは現地で観察できるそうなので、光り物好きなK田さんの取材を待つ。

次ページに二上山付近の地質図を、二上山博物館館内展示より転載する。転載にあたっては、香芝市教育委員会および香芝市二上山博物館の許可を得た。岩相の説明は、二上山地学研究会(1986)による。



二上山周辺をつくる地層の層序 地層の積み重なり方



二上山周辺の地質図および凡例

①二上山博物館	
②千股池(チマタイケ)	
③鳥谷口(トリタニグチ)古墳	Gr 基盤岩(花崗岩)
④二上山雌岳(メダケ)	MA ドンズルボー累層雌岳火山岩
⑤二上山雄岳(オダケ)	Mo 原川累層雄岳火山岩
⑥屯鶴峯(ドンツルボー)	Du ドンズルボー累層上部ドンズルボー層
ドンズルボー累層雌岳火山岩	雌岳およびその東域には含ざくろ石黒雲母流紋岩の熔岩、火山角礫岩が分布し、雌岳火山岩と呼ばれている。白色の流紋岩質岩脈が竹内峠、牡丹洞などで貫入している。
原川累層雄岳火山岩	黒色緻密な無斑晶質岩石で、しばしば流理構造がみられる。周縁部は黒色ガラス質の急冷相となる。角閃石斑晶がしばしば含まれる。鏡下では隠微晶質の石基中に少量の角閃石、斜方輝石、斜長石斑晶が点在する。
ドンズルボー累層上部ドンズルボー層	屯鶴峯周辺に広く露出し、白色の凝灰岩、凝灰角礫岩からなる層理の明瞭な地層である。灰色、黒色の含ざくろ石黒雲母流紋岩の礫を多量に含む。また、畑火山岩の巨礫をしばしば含む。Kato et al.(1971)は本層に多数の水中火砕流堆積物を見出した。
地質図および凡例は香芝市二上山博物館展示解説より転載編集・加筆した(香芝市教育委員文化財課許可 香教委指令第10号)。	
地質説明は二上山地学研究会(1986)による	
本稿執筆にあたり、香芝市教育委員会まなび推進局文化財課様には、資料提供、会報への掲載許可など、多大のご指導をいただきました。ここに感謝します。	

悲運の姉弟 大伯皇女・大津皇子

南 寿宏

うつそみの	人なるわれや	明日よりは	二上山を	弟世とわが見む	巻二	165	大伯皇女
紀伊道にこそ	妹山ありといへ	玉櫛笥	二上山も	妹こそありけれ	巻七	1098	作者未詳
大坂を	我が越え来れば	二上に	黄葉流る	しぐれ降りつつ	巻十	2185	作者未詳
二上に	隠らふ月の	惜しけども	妹が手元を	離るるこのころ	巻十一	2668	作者未詳

大伯(大来)皇女(おほくのひめみこ)と大津皇子は天武天皇と太田皇女の同母姉弟。

660年に朝鮮半島南西部の百済が滅亡の危機にあい、中大兄皇子(後の天智天皇)は百済救援のため、母の斉明天皇、弟の大海人(おほあま)皇子(後の天武天皇)とともに九州に向かう。

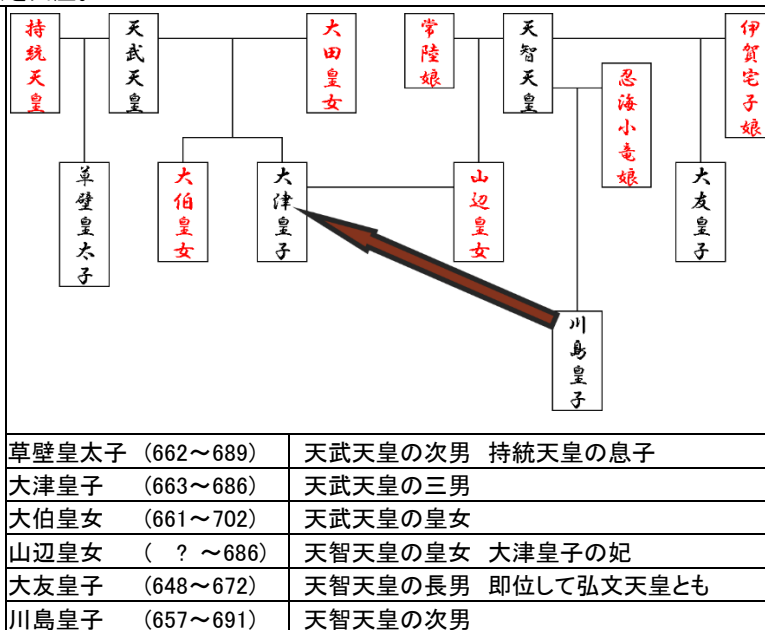
661年	一行が岡山の邑久(おく)沖を航行中、大田皇女が女児(大伯)を出産。
662	九州の那大津で讃良(さらら)皇女(後の持統天皇)が男児(草壁)を出産。
663	九州の那大津で大田皇女が男児(大津)を出産。

讃良皇女、大田皇女はともに天智の娘であるが、大田が667年に薨去し、讃良が大海人の妃となったことで、天武の後継者が草壁と定まる。

ここで、石川郎女(いしかはのいらつめ)という恋多き女性を見ておく。石川の恋愛遍歴は、相聞の部に見られる。その相手は次のとおりである。

久米禪師	(巻二 96~100)
大津皇子	(巻二 107~109)
草壁皇太子	(巻二 110)
大伴田主	(巻二 126~128)
大伴宿奈麿	(巻二 129)

草壁は、自分に女官として仕える石川に恋歌 110 を送っている。大名児とは石川の字(あざな)である。



大名児	彼方野邊尔	苺草乃	束之間毛	吾忘目八	
大名児が	彼方野邊に	刈る草の	束の間も	わが忘れめや	万葉集 巻二 110
おほなこが	をちかたのべに	かるかやの	つかのあひだも	わがわすれめや	草壁皇太子
大名児が	遠くの野邊で	刈る草の束	その束の間も	私が忘れようか	

いっぽう大津は、過激な歌 109 を詠む(訳の一部を伏字にした)。

大船之	津守之占尔	将告登波	益為尔知而	我二人宿之	
大船の	津守の占に	告らむとは	まさしに知りて	わが二人宿し	万葉集 巻二 109
おほふねの	つものうらに	のらむとは	まさしにしりて	わがふたりねし	大津皇子
大船の	津守の占いに	出てくることを	まさしく知りながら	我ら二人は●●のだ	

96~100の久米禪師との五首は、『男女が妻問い(共寝)をなしとげる時の模範的なやりとりを示す歌として語り継がれる歴史があった(伊藤博による)』とか。

題詞	久米禪師の石川郎女を娉(よば)ひし時の歌五首
----	------------------------

この五首は青少年健全育成の観点から掲載を自粛するので、各自の自己責任でご一読を。

(このとき久米はかなりの年齢でしかも僧侶であるのに、若き(何でも10代とか)石川の色香に迷ったようで(汗))

126~128は、石川と田主とのやり取り。R-18指定なので、注意されたし。

石川が田主に恋文を届けようとしたが、その機会がなかった。そこで石川は一計を案じ、賤しい老女に化けて火種を請うという方法で田主の家に入り込み、共寝を図ったが、田主は火種を与えただけで老女(=石川)を追い返す。

翌日、石川は歌を田主に送る。

遊士跡 流士と みやびをと 風流な人と	吾者聞流乎 我れは聞けるを われはきけるを 私は聞いていたのに	屋戸不借 宿貸さず やどかさず 宿も貸さず	吾乎還利 我れを帰せり われをかへせり 私を帰すって	於曾能風流士 おその風流士 おそのみやびを にぶいわねこの風流人は	万葉集 卷二 126 石川郎女
------------------------------	--	--------------------------------	-------------------------------------	--	--------------------

これに対する田主の返歌。

遊士介 流士に みやびをに 風流人で	吾者有家里 我れはありけり われはありけり 私はございます	屋戸不借 宿貸さず やどかさず 宿を貸さず	令還吾曾 帰しし我れぞ かへししわれぞ 帰した私こそ	風流士者有 風流士にはある みやびをにはある 風流人ですよ	万葉集 卷二 127 大伴田主
-----------------------------	--	--------------------------------	-------------------------------------	--	--------------------

伊藤博によると、風流士とは、道德面から好色面まで幅広く使われているそうである。石川が好色面から「あなたって、にぶい人ね」と言ったことを田主は道德面にすり替え、「私は高潔ですから」と答えたのである。これは、田主の完勝である。しかし、20代で草壁と大津を両天秤にかけた石川である。40超えのこのおばさん、とんでもない反撃に打って出る。その歌128は、次のとおり。

吾聞之 我れ聞きし われききし 聞いてるわよ	耳介好似 耳に好く似る みみによくにる 耳によく似て	葦若末乃 葦のうれの あしのうれの 葦の先のような	足痛吾勢 足痛く我が背 あしひくわがせ 細い足を引きずるあなた	勤多扶倍思 勤めたぶべし つとめたぶべし どうかお大事にね	万葉集 卷二 128 石川郎女
---------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--	--	--------------------

この歌は、表向きは『足痛』、つまり足が痛くて引きずって歩いている田主をいたわる歌である。しかし、いささか言いにくいのでフォントを小さく薄くするのであるが、この『足』というのは、どうも、男性のいわゆる”息子”を意味しているようなのだ。つまり、おばさん、「あなたの〇〇って、葦みたいにちっちゃいわね」と言ったらしいのだ。なお、これは伊藤博の本にあった説である。万葉の大家も男の子、何か親しみを覚える。

まことに下品な歌で、失礼しました。

本論に戻る。まずは年表から。

671年	天智天皇、重病。大海人皇子、危険を察し、剃髪の上、吉野に脱出。 天智の皇子の大友皇子、立太子。 天智崩御。(大友が即位したという説がある→1870年弘文天皇)
672	大海人、讃良皇女と草壁皇子を連れ、吉野を脱出、東国へ。 大伯皇女(11歳)、弟大津皇子(9歳)の手を引き、近江京を脱出、伊勢の大海人に合流。護衛の大人はわずか9人。 壬申の乱勃発。大海人勝利、大友自害。
673	大海人即位、天武天皇となる。讃良皇女、皇后となる。 大伯皇女、伊勢神宮斎王となり、翌年伊勢に下向。
679	吉野の盟約。天武、自分の皇子4人、天智の皇子2人に、兄弟同士争わないことを誓わせる。 天武の皇子…長男高市・次男草壁(聖武天皇の祖父)・三男大津・四男忍壁 天智の皇子…次男川島・七男志貴(桓武天皇の祖父)
681	草壁、立太子。
686	天武崩御。川島、大津の謀反を讃良に密告。 大津処刑。 大伯、斎王の任を解かれ、帰京。大津を悼む歌を詠む。
689	草壁薨去。
690	讃良皇后即位、持統天皇となる。
691	川島薨去。
702	大伯薨去。
703	持統崩御。

686年、天武が崩御。大津は謀反を計画し、ひそかに都を脱出、伊勢神宮の姉大伯のもとを訪れ、加担を呼びかけるが、大伯は拒絶。大津は空しく都に戻る。それを見送る大伯の歌が二首。

大津皇子の竊かに伊勢の神宮に下りて上り来ましし時に大伯皇女の作りませる歌二首					
吾勢祐乎 わが背子を わがせこを Brother, seeing you off for Yamato, I stood all night watching after you till I was drenched in the dawn dew.	倭邊遣登 大和へやると やまとへやると	佐夜深而 小夜更けて さよふけて	鶏鳴露尔 暁露に あかときつゆに	吾立所露之 我が立ち濡れし わがたちぬれし	英文はマクミラン(2019)による 万葉集 卷二 105 大伯皇女
大切な弟を大和へ見送ると、夜が更けてあかつきの露に濡れてしまった、ずっと立っていたので。					

『鶏鳴』は鶏が鳴くから『あかつき』を意味する、万葉ジョーク。

二人行杼	去過難寸	秋山乎	如何君之	獨越武	英文はマクミラン(2019)による
二人行けど	行きすぎがたき	秋山を	いかにか君が	一人越ゆらむ	
ふたりゆけど	ゆきすぎがたき	あきやまを	いかにかきみが	ひとりこゆらむ	
Even if two travelled together, it would be hard to cross this autumn mountain, so how can you cross it all by yourself?					万葉集 巻二 106 大伯皇女
二人で行っても行き過ぎがたい秋山をどうやってあなたが一人で越えるのか。					

大津、帰京。川島の密告により、謀反が発覚、大津は捕縛・処刑される。大津の辞世の歌。

大津皇子の被死らしめられし時に磐余の池の堤にして涕を流して作りませる歌一首					
百傳	磐余池尔	鳴鴨乎	今日耳見哉	雲隠去牟	万葉集 巻三 416 大津皇子
ももつたふ	磐余の池に	鳴く鴨を	今日のみ見てや	雲隠りなむ	
ももつたふ	いはれのいけに	なくかもを	けふのみみてや	くもかくりな	
(枕詞)	磐余の池に	鳴く鴨を	今日最後に見て	私は死んでいくのだろうか	

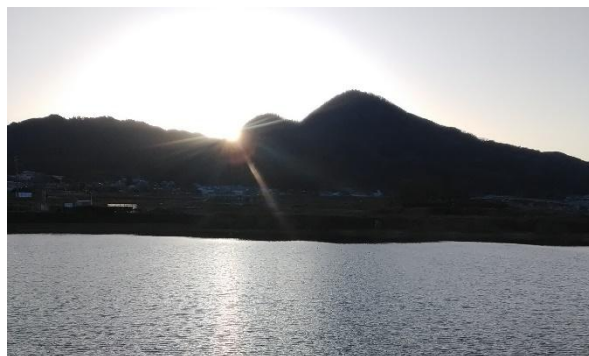
天武の崩御に伴い、大伯、伊勢斎王の職が解かれ、帰京。大津はすでに処刑されていた。

大津皇子の薨りましし後に、大伯皇女の伊勢の斎宮より京に上りし時に作りませる歌二首					
神風乃	伊勢能國尔母	有益乎	奈何可来計武	君毛不有尔	万葉集 巻二 163 大伯皇女
神風の	伊勢の国にも	あらましを	何しか来けむ	君もあらなくに	
かむかぜの	いせのくににも	あらましを	なにしかきけむ	きみもあらなくに	
神風の吹く	伊勢の国に	いたほうがよかった	何をしに來たのか	君はもういないのに	
欲見	吾為君毛	不有尔	奈何可来計武	馬疲尔	万葉集 巻二 164 大伯皇女
見まく欲り	我がする君も	あらなくに	何しか来けむ	馬疲るるに	
みまくほり	わがするきみも	あらなくに	なにしかきけむ	むまつかるるに	
会いたく思ふ	わが弟も	いないのに	何をしに來たのか	馬も疲れるのに	

大津の遺体は二上山に埋葬された。大伯は二上山を仰ぎ、歌を二首詠んだ。

大津皇子の屍を葛城の二上山に移し葬りし時に、大伯皇女の哀しび傷みて作りませる歌二首					
宇都曾見乃	人尔有吾哉	從明日者	二上山乎	弟世登吾將見	万葉集 巻二 165 大伯皇女
うつそみの	人なるわれや	明日よりは	二上山を	弟世とわが見む	
うつそみの	ひとなるわれや	あすよりは	ふたかみやまを	いろせとわがみむ	
この世の	人である私は	明日からは	二上山を	弟と思おう	
磯之於尔	生流馬酔木乎	手折目杼	令視倍吉君之	在常不言尔	万葉集 巻二 166 大伯皇女
磯の上に	生ふる馬酔木を	手折らめど	見すべき君が	在りと言はなくに	
いそのうへに	おふるあしびを	たをらめど	みすべききみが	ありといはなくに	
岸のほとりに生えている馬酔木を手折っても、見せるはずのあなたが生きていたとは誰も言ってくれない。					

雄岳山頂には大津皇子が眠る。大伯皇女は祖母である斉明天皇陵の傍らに眠るという。



二上山東の千股池から二上山を望む
左は雌岳 474m 右は雄岳 517m 千股池は 73m(それぞれ標高)
取材日(2023/3/6)の太陽の位置は上のとおり。春分・秋分のころ、太陽が両岳の間に沈む。

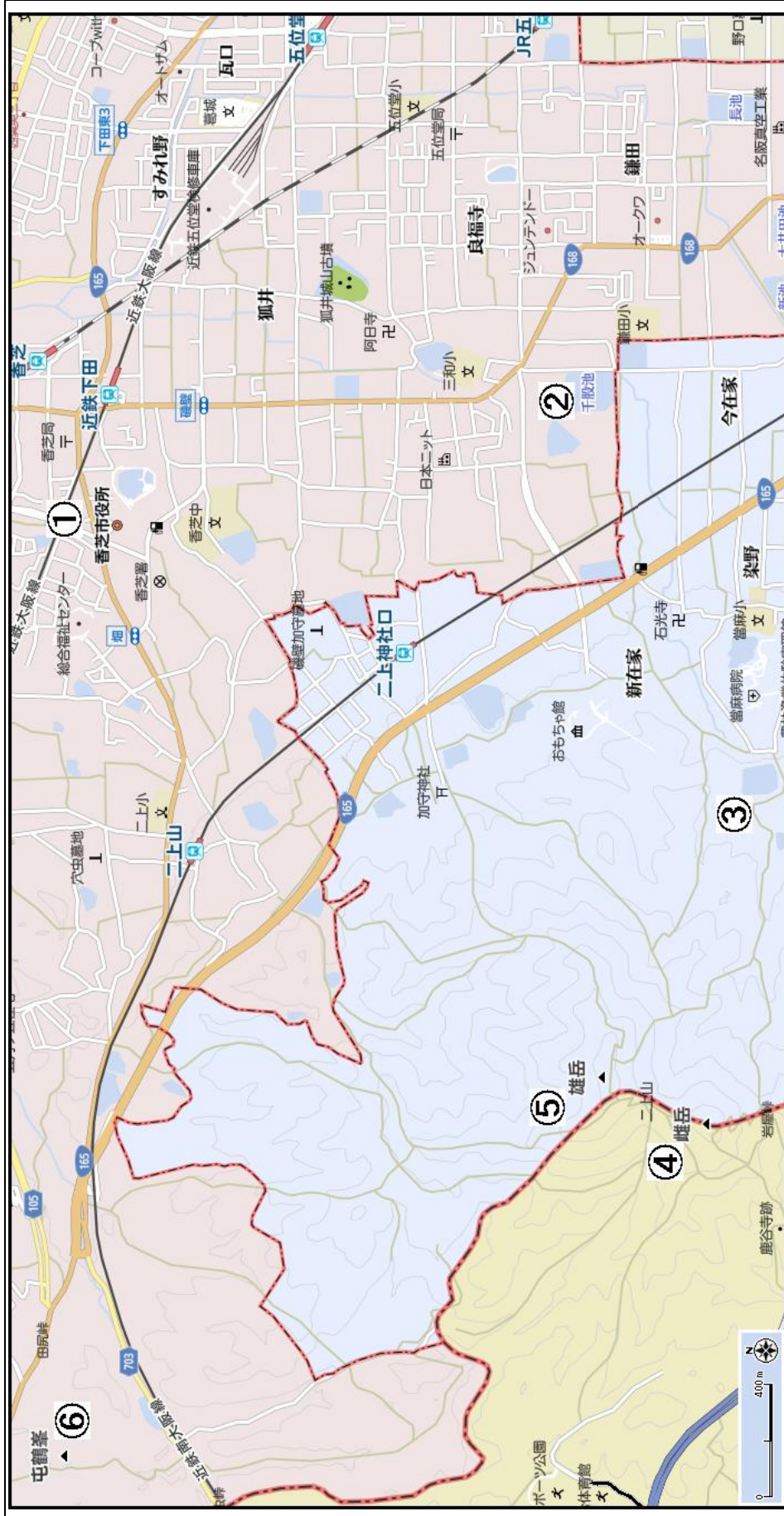
【文献】

ピーター・J・マクミラン(2019): 英語で味わう万葉集. 文春新書 1245

二上山地学研究会(1986): 二上層群の原川累層・定ヶ城累層の層序とサヌキトイドの活動時期. 地球科学, vol.40 no.2 p.89-101

大津皇子の謀反については、「持統皇后が草壁皇子を即位させるため、でっちあげた」という説が根強いことは承知しておりますが、本稿では、大津謀反という従来の説に従いました。

大津の墓は二上山雄岳山頂ではなく、二上山麓の鳥谷口古墳であるという説があります。鳥谷口古墳は二上山雄岳山頂から南東に 1km。



二上山ルートマップ(Mapion を編集)

①香芝市二上山博物館	②千股池(チマダケ)	③鳥谷口 (トリタニグチ) 古墳	④二上山雌岳(メダケ)	⑤二上山雄岳(オダケ)	⑥屯鶴峯(ドンツルボウ)
香芝市藤山一丁目 17-17 香芝市内及び二上山周辺地 域の地質・考古・歴史等の人 間の生活・文化に関する博物 館。	二上山撮影ポイント 春分、秋分には、太陽が雄岳 と雌岳の間に沈む。	伝 大津皇子墓 石室の表面が荒削りで、入 り口が幅 40cm、高さ 50cm と小さいことから、大津皇子 の墓を改葬するために急造 された可能性が指摘されて いる。	標高 474m 流紋岩火山角礫岩で、下部 に凝灰角礫岩を挟む。	標高 517m 無斑晶安山岩熔岩。 頂上付近の臺は大津皇子墓 に比定され、宮内庁が管理 する。	二上山の火砕流堆積物が水 の影響で形成された地質・地 形。高松塚古墳やキトラ古 墳の石室に利用されている。